

第1回健康食品機能性表示検討委員会議事録

開催日時：2013年11月29日（金）14時～15時

場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷 2階 白樺（西）の間

出席者：アリメント工業(株)織地様、アルテクノ工業(株)大木様、イワキ(株)合川様、オルト(株)田中様、(株)光洋商会柴山様、興和(株)小佐々様、サンライフ(株)吉岡様、スターリジャパン(株)大谷様、日油(株)山田様、日新蜂蜜(株)近松様、ビーエイチエヌ(株)亀山様、備前化成(株)竹内様、福田龍(株)有村様、富士カプセル(株)下川様、ミナト製薬(株)小島様、(株)リコム溝口様、(株)龍泉堂塩島様

委員会担当理事：橋本理事、田中理事、陣野理事、高柿（文責）

議事内容

【委員長挨拶】

（一社）日本栄養評議会（CRN JAPAN）橋本副理事長より「健康食品機能性表示検討委員会」を新たに設置し、第1回委員会を開催するに際して委員長挨拶が行われた。

【委員会開催の経緯説明】

委員会を開催するに当たり、田中理事より委員会を設置するに至った経緯の説明が行われた。

【自己紹介】

委員会出席者の自己紹介を行い相互の理解を行った。

【機能性表示事務局案説明】

委員会での議論を活発に進めるため、予め用意し、配布した事務局案について以下の内容説明を行った。

・昨年度CRNの表示委員会で議論を行い、健康食品産業協議会で取りまとめられた《「健康食品」の表示・広告自主基準（ガイドライン）策定のための基本的考え方について》を基本の考えとして作成されていること。

・薬事法、食品衛生法、健康増進法、景品表示法が定める根本的な表示の禁止事項には抵触しない表示とすること。

・アメリカの構造機能表示を参考とすること。

* 《「健康食品」の表示・広告自主基準（ガイドライン）策定のための基本的考え方について》を持っていないメンバーが大多数のため、後日CRN事務局より送付することとした。

【事務局案に対するディスカッション】

・日健栄協では多数の会員がおり、長年の蓄積で評価されたものを多く持っている。CRNと日健栄協との機能性表示に関する関係はどのようになるのか。

⇒CRN案のアウトプットは健康食品産業協議会を考えている。日健栄協も独自に機能性表示について取り組むであろうが、消費者庁への業界団体としての窓口は産業協議会であると認識している。産業協議会で日健栄協を含む各団体の案を取りまとめることになるのではないかと思う。

・機能性と有効性の違いについてはどのように解釈すればよいか

⇒疾病や病的症状、病的変化等を治癒、改善、予防する作用を有効性、ある物質や成分などが保有している特定の働きを説明したものが機能性。糖尿病や血糖値を下げることに對する作用は有効性、ある物質がアミラーゼの働きを弱める働きをすることは機能性。

・日健栄協の機能性モデル評価事業の様なレベルの機能性表示を最初から議論しないのはどうか。色々なレベルの機能性について評価するべきではないか。

⇒高いレベルの機能性表示を除外するわけではない。しかし、その様な内容の表示提案は他団体からも多く出てくることが予想される。CRNとしては基本的な機能性表示が議論の俎上に乗らない事態を避けるため、他団体が出してこないかもしれない基本的な機能性表示の要望をしっかりと訴えたい。

・基本的なレベルの機能性表示をあえて打ち出すのは団体としての戦略か。

⇒CRNとしては基本的な機能性表示の要望が業界団体から出ないことは避けたい。有効的な表示の要望ばかりを訴えて、それ以外は何も表示できなくなることがあってはいけない。

【第2回委員会の開催】

出席者の都合を確認した結果第2回は12月13日（金）13時～15時を第1候補として調整を行う。

第2回からは機能性表示に関する検討について、各委員の意見を発言してもらいながら進める。

以上